

インターンシップを受け入れました

令和5年12月6日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

熊本牧場では、11月13日～17日の5日間、東海大学の学生1名のインターンシップを受け入れました。

今回のインターンシップでは、飼料・種苗業務を中心として、職員の説明を受けながら実務を行ってもらいました。飼料分析や種苗生産施設の見学、種子検査などの実際の業務、また、当場のあか牛についても、改良方針および飼養管理を学び、さらには、阿蘇地域和牛繁殖農家の視察を行いました。これらを通してインターンシップ生には、家畜改良センターの業務が生産者にどのように役立っているかについても理解してもらいました。

学生からは、「飼料分析業務における分析項目（可消化養分総量の推定等を含む）とその利用、種子検査業務の異種子の同定が難しかったが、大変勉強になった。また、阿蘇地域の農家視察において、和牛繁殖農家と直接会って、飼養管理技術等、多くの話を聞くことができ、現在、大学で学んだことが、今回のインターンシップを通じてさらに深く理解できたと同時に、大学で体験できないことについても学ぶことができた。」と感想をいただきました。

参加したインターンシップ生には、是非この経験を糧にして、今後の日本の畜産等で活躍する人材として大きく羽ばたくことを願っています。

※インターンシップの受け入れについて

家畜改良センターでは毎年、本所の各部、各牧場において、原則として7月から11月までのうち1週間から1ヶ月の間受け入れます。

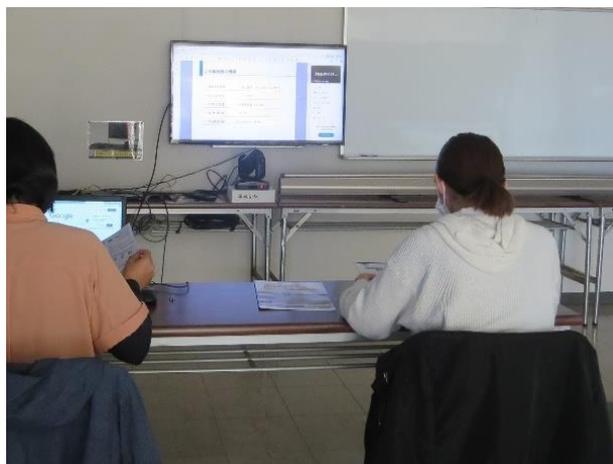
詳しくはHPをご覧ください

<http://www.nlbc.go.jp/saiyo/internship/index.html>

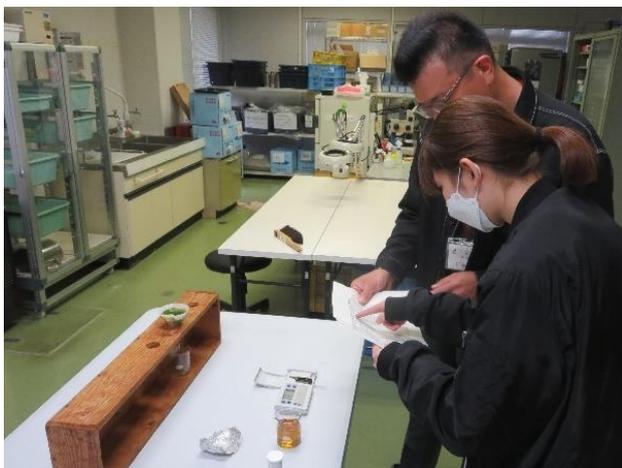
【研修の様子】



【ギニアグラス種子生産の説明】



【草地管理に関する研修会参加（WEB会議）】



【硝酸態窒素簡易測定実習】



【牧草種子サンプリング実習】



【あか牛の飼養管理説明】



【阿蘇地域和牛繁殖農家視察】